

隼  
Hayabusa

# 特搜最前線

国内仕様ハヤブサの真実を追え!

HAYABUSA DOMESTIC VERSION

手に余るモンスターが、身近な存在に感じられる!?

## 200馬力級を意のままに操る ハヤブサ使いへの最短距離!

スズキのフラッグシップモデルとしての偉容を誇るハヤブサの、  
その大きなボディに腰が引けてしまうライダーもいることだろう。  
しかし、このスクールを1日体験するだけで世界は大きく変わる。  
国内仕様ハヤブサが隠し持った、本当の実力、ここまでスゴいか!?

撮影／柴田直行、文／編集部



SUZUKI  
北川  
RIDING  
SCHOOL  
in 龍洋

## HAYABUSA DOMESTIC VERSION

最初はヨロヨロだけど

先生の指示で走り激変

オーバーランしそうなボクに「貴方の場合は、目標をこうね…」という魔法の言葉で、急に走りが変わった。



バイロン  
スラローム  
Pylon Slalom



8の字  
走行  
Eight Figure



デモ走行  
Demonstration

講師はこの人!



世界耐久連覇を成し遂げた北川圭一がスクールの講師

05~06年世界耐久連覇の北川さんがメイン講師という贅沢なスクールだが、その他講師陣も腕前が半端じゃない!

休憩を兼ねて

ちょっとした豆知識も  
昼食後にはパチ医学講座なども開かれます。内容も新鮮だけど、先生のトークが面白すぎるのも大きな特徴。



まずは円陣を組んで

念入りに準備体操  
ひとりだとおろそかになりがちな準備体操も念入りに行なわれる。身体が固すぎると自分に泣けてくる……。

ハヤブサというオートバイには  
パワー以上に誇るべきものがある

サーキットで逆輸入モデルとガチバトルした前回から一転、今回はスキルが誇る竜洋テストコースが舞台

国内仕様ハヤブサで乱入です!  
と言ふと威勢がいいんだけど、実

はこのスクール、過去に1回受講したことがある。けつこうな小回りが要求されるなど、過去の記憶からハヤブサでは少々キツいかも……と予想しておりました。

でも、実際はまだハヤブサを過小評価していたらしい。それまで見えていたなかつたハヤブサの素晴らしさを大発見! というのが走り終えての結論だったのだ。

ギア1速でスロットルオン・オフを繰り返すスラロームなんて、内心かなりビビっていたのに、走つてみればこれが樂しい! 車体はビクともしないし、リアブレーキを駆使すればスパッスパッと面白いように向きが変わる。そのうえハヤブサは極低速の小回りも不安なくどうっしりと安定。そうだった、ハヤブサってバイクだけじゃなくて、低速時の異様な扱いやすさにも本領があるんだつた。

しかも、1日バイロンと戦った後は、もうハヤブサが重いとかデカいなんて思わなくなる。北川マジック、おそるべし。上手くなるなら、これは受講一択で決まりだ!

快感!  
アウトリガー  
Outrigger



スズキ乗りだけの特権  
参加して絶対に損はない!



今後の開催スケジュール

- ・2014年10月13日(祝日)
  - ・2014年11月23日(日)
  - ・2015年3月22日(日)
- 北川ライディングスクールの申し込みはWEBから!  
URL: [www.k1-kitagawa.com](http://www.k1-kitagawa.com)

絶対に転倒しないフルパンク体験

コレは面白い。すごく面白い。なんといっても転ばないから思い切ってパンクできる。ここまでオートバイって寝るのか……と感動するはずだ。



Uターン  
U-turn

超苦手のUターン練習も  
ここでなら安心できる

ひとりで練習するには不安の多いUターンも、ここでなら安心。調子に乗りすぎて転びそうになったけど、先生がガッチリと支えてくれるから大丈夫!



テクニカルセクション満載!

加速、ブレーキ、ターンとメリハリのある走りが身に付くコーススラローム。不安そうに走っていたら、先生がいつの間にか後ろにいて安心だった。



難関!  
コース  
スラローム  
Course Slalom



重くて止まらないと  
今まで思っていたのに…

ハヤブサはブレーキが弱点と勝手に信じていたが、甘かった。ABSを効かせるのが大変なほど、すさまじい制動力を体感。目からウロコです。



ブレーキ  
Brake

最後はお楽しみ  
じゃんけん大会も



カリキュラムが終わったら和気あいどじゃんけん大会も開催された。みんな何らかのお土産をゲットし、今日1日の満足感がさらにアップ。

高速コース  
体験走行  
Course Experience



知らないうちに走りが変わった!

写真になってから気が付いたけど、コーナリング時の上体の伏せかたが、今までの自分と明らかに違う! 下半身ホールドがしっかりできている、腕の力が抜けているのだ。これは本当に感動した。